

熱中症を防ごう!

~ 6月から9月までの期間は「大阪危険ゼロ先取運動」の
職場における熱中症予防強調期間です ~

毎年気温が上昇する夏季には、屋外作業はもとより屋内作業においても、職場における熱中症が多発しています。昨年大阪府内において発生した熱中症による災害件数は、死亡災害が1件、休業4日以上災害が32件発生(裏面災害事例参照)となっています。

大阪労働局では、平成21年6月「職場における熱中症予防対策要綱」を策定し、職場における熱中症予防対策の推進を図っているところですが、各職場においては、熱中症予防強調期間中、上記対策要綱に基づいた取り組みを強化し、熱中症の予防対策を徹底して下さい。

熱中症とは

熱中症とは、高温多湿な環境下において、体内の水分及び塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害の総称であり、軽度では、立ちくらみ、こむらえり等の筋肉の痛みや硬直等、中等度では、頭痛、嘔吐、倦怠感等、重度では、意識障害、けいれん、意味不明な言動、ショック症状、高体温等様々な症状が現れます。

事業主の皆様へ

WBGT値(暑さ指数)を活用すること等により「職場における熱中症予防対策要綱」に基づいた取り組みを強化しましょう。

「安全宣言運動」の宣言内容に熱中症予防に関する事項を盛り込み、作業者の意識の高揚を図りましょう。

「職場における熱中症予防対策要綱」及び「安全宣言運動」の詳細は、大阪労働局のホームページを参照してください。
「熱中症予防対策要綱」：<http://www.osaka-rodo.go.jp/topic/220801nettusyou/yoboutaisakuyoukou.html>
「安全宣言運動」：<http://www.osaka-rodo.go.jp/anzenisei/anzen/anzensengen.html>

作業者の皆様へ

こまめに水分・塩分をとりましょう。
直射日光や照り返しを遮るようにしましょう。
睡眠を十分にとり体調管理に気をつけましょう。
作業前には健康状況をチェックしましょう。
休憩は風通しのよい涼しい場所でとりましょう。
少しでも体調不良を感じたときは、早めに申し出て医療機関で診察を受けましょう。



平成22年において大阪府内で発生した熱中症による労働災害発生状況
(抜粋)

(休業4日以上死傷災害事例)

	発生月日	発生時刻	業種	休業日数	性別	年齢	最高気温()	発生状況の概要
1	7月6日	14時30分頃	建設業	19日	男	50代	31.3	木造家屋の解体工事において、建物内部のバラシ作業中、体温が上昇して脱水症状となり、意識を失ったもの。
2	7月21日	20時00分頃	運送業	30日	男	40代	34.2	13時から荷積みを開始。作業中からめまいや手足のしびれを感じていたが作業を続け、15時に荷積みを終了。19時まで休憩した後、搬入先へ向かう途中体調が悪化し、救急車で搬送されたもの。
3	7月23日	19時30分頃	ゴム製品製造業	14日	男	20代	36.0	工場内で蒸気プレスを使用して製造作業を行っていたところ、体調不良を訴え約30分休憩した後帰宅しようとした際倒れ、救急車で搬送されたもの。工場内の気温は、40～50であった。
4	8月10日	15時00分頃	ビルメンテナンス業	14日	男	50代	33.4	屋内で清掃作業中、多量の発汗や痙攣の症状が起こり、病院に搬送されたもの。
5	8月18日	14時20分頃	自動車整備業	30日	男	40代	37.3	加工ラインの仕分場で作業中に気分が悪くなり、休憩室へ向かう途中で倒れ、救急車で搬送されたもの。
6	8月18日	15時40分頃	建設業	死亡	男	30代	37.3	マンション新築工事現場において、9階スラブコンクリート打設作業が終了し、地上へ下りる途中、外部足場の2層目階段部分で仰向けに倒れているところを発見されたもの。
7	8月18日	16時30分頃	運送業	10日	男	30代	37.3	集荷先で集配荷物をトラックに積載していたところ、気分が悪くなり、救急車で搬送されたもの。
8	8月20日	17時30分頃	社会福祉施設	10日	女	30代	35.8	保育園の園児の送迎バスの中において、頭痛、吐き気等を訴えたもの。
9	8月23日	12時30分頃	食料品製造業	7日	男	40代	36.8	菓子の生地の乾燥室において、乾燥機の生地取出口付近で倒れているところを発見されたもの。室温は、約45であった。
10	8月31日	16時00分頃	建設業	21日	男	40代	35.5	給水管の敷設作業中、足に違和感を感じ、しばらく休憩していたが、全身に痙攣が広がり救急車で搬送されたもの。